

地域デザイン委員会

委員長 長沼 克

【基本方針】

こだま地域は都心とのアクセスが良いだけでなく、自然にも囲まれた暮らしやすい街で
5 す。人口の社会増もあるこの地域に必要なものは、新たに転入した方に地域を語れるよう
興味を持ってもらうこと、地域住民と協働でまちづくりを行うこと、地域外から多くの方に訪
れて頂くことです。地域住民も地域愛が生まれることで魅力を外へ伝え、地域外の方が訪
れることで交流人口は増し、経済効果を生みます。それには魅力ある仕掛けを通して住民
10 の意識変革と地域愛を育て、地域外の方には魅力を強く発信する必要があります。それ
はまずLOMメンバーやその家族の共感を得て広く発信することが不可欠です。そこで3月
はメンバーや家族の共感を得てまちづくりの意識向上を図り、11月ではメンバーだけでなく
地域の人と協働関係を築き、地域内外へこだま地域の魅力を伝えます。その結果、地域住
民は矜持の気持ちでまちの魅力を語り、地域外の方は訪れることで魅力に気付き、こだま
地域は魅力あふれるまちになります。

15 3月例会はLOMメンバー及び家族の共感を得ることが重要と考え、近代から未来へのア
ートツアーを行います。美術館を訪れ、まちの文化となり得る芸術に触れ、楽しみながら多
様な価値観を発見します。さらに対話鑑賞やワークショップ、デジタルアートの先端技術を
通じて、豊かな感性や想像力を磨くだけでなく、美術館が教育普及や地域貢献の役割を担
う存在ということに気付いて頂きます。参加者には芸術の魅力とまちづくりの力になるとい
20 うことを体感して頂きます。

11月例会は、3月で得たメンバー・家族の共感・協力により、こだま地域1市3町を舞台に
芸術祭を行います。歴史的建造物、自然溢れる公園、古き良き街並みを生かした作品展
示をします。また障がい者アートや地域の魅力を体験できるワークショップも行い、子ども
から大人まで楽しめる機会を創ります。さらに、クラウドファンディングを活用して未来を感

25 じるデジタルアートを展示し、先端技術を用いて地域の魅力を発信します。そのために公共施設、交通機関を中心に、地域外からの就業者、学生にPRするだけでなく、住民にはボランティア依頼をし、協働体制を作ります。このように多角的に地域の魅力を伝え、資金とまちづくりの共感を得ることで、地域内外から多くの方に訪れて頂きます。

2例会を通して地域住民と共感できるまちづくりをします。それは、地域愛を醸成し地域の
30 魅力となると確信します。その魅力は必ず伝播し、地域の外へ魅力ある地域として伝わります。

また、会員拡大は組織において重要課題です。地域のために行動する、という情熱をこ
だま青年会議所の会員として率先して伝播していくことが、明るい豊かな社会へ繋がります。伝播を広げるために会員拡大に注力し、メンバーと地域住民と共にまちづくりに関心を
35 持ち、一年間邁進してまいりますので、宜しくお願い致します。

【事業計画】

1.3月例会の開催

2.11月例会の開催

3.会員の拡大

40 【事業予算】

1,750,000円